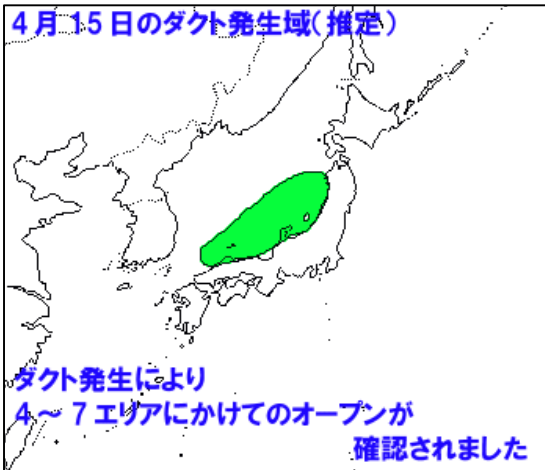


高圧帯の中で日本海ダクト発生！

2004年4月15日 JG0TEV 中村

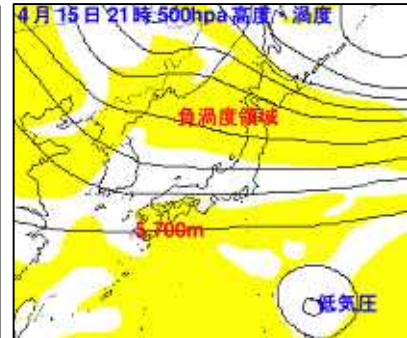
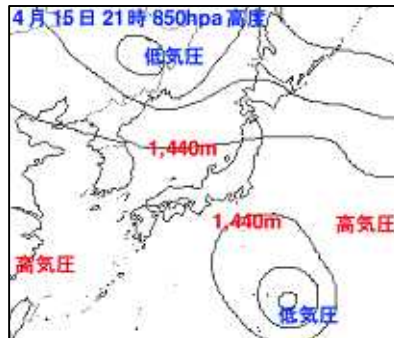
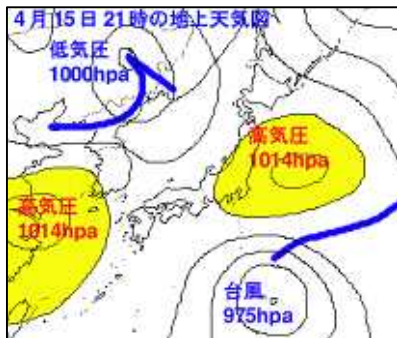
本州付近は高圧帯に覆われて、日本海ダクトによるオープンが確認されました。



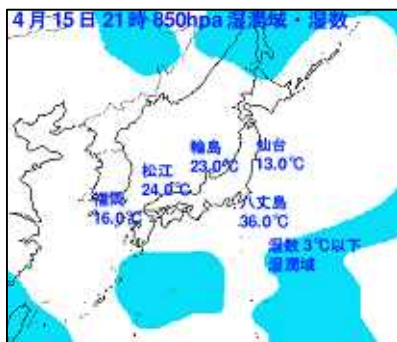
JO7IZC 須藤さんからのオープン情報
ダクト発生により4～7エリア間オープンが確認されました
19:44 JI0LQJ(新潟・糸魚川市) - JO7IZC(秋田・由利郡)
RS55-55 FM
20:11 JR4MDA(鳥取・米子市) - JO7IZC(秋田・由利郡)
RS59-59 ハンデ 1300mw 交信 FM

気象解析

地上天気図では三陸沖と中国大陸東岸に移動性高気圧があって本州付近は高圧帯となっています。850hpa面を見ると、本州付近は1,440mの等高線で囲まれた高圧帯になっていることがわかります。500hpa面では対馬海峡付近が弱いトラ負となっていますが、日本海にはリッジが解析されていて、日本海と本州の南海上では負渦度領域が広がっていることがわかります。以上から、本州付近の高圧帯は勢力こそ強くはありませんが、中層大気に影響を与えていると見ることができます。



850hpa面の湿潤域・湿数をみると、本州付近に乾燥空気が流れ込んでいることがわかります。



850hpa面の6の等温線は沿海州から東北地方を横切るラインまで北上していて、暖かい空気に覆われるようになってきています。700hpa面の鉛直流では日本海に上昇流域が解析されていますがこれは空気が暖められた結果気層が膨らんだことによるものと考えます。

以上から、本州南部を中心にダクト発生条件が揃いやすい環境になっていたものと解析します。